

## 自然災害伝承碑 3

5月の連休に自然災害伝承碑を訪ねました。  
国土地理院webサイト「自然災害伝承碑について」で例示されている自然災害伝承碑(水害碑:広島県坂町)です。

<https://www.gsi.go.jp/common/000211781.pdf>



国道31号線と県道坂小屋浦との交差点から「坂町自然災害伝承公園」に向かいます。1.1kmです。

呉広島道路の高架道路の下を過ぎ、天地川(てんちかわ)東岸の小屋浦(こやうら)公園が現地でした。地図と異なり、4つの碑などが五月晴れの空のもと、絶対的な存在感を示していました。

災害から身を守る

この自然石は、平成30年7月豪雨により土石流となって流出したものです。災害から自分の身を守るためには、早めの避難をすることが最も重要です。



国土地理「電子国土web」で自然伝承碑を検索する方法については、YACかわら版335「自然災害伝承碑」YACかわら版339「自然災害伝承碑 2」を参照ください。

<https://www.yac-j.com/wp-content/uploads/2023/03/yackawaraban20230120.pdf>

<https://www.yac-j.com/wp-content/uploads/2023/03/yackawaraban20230130.pdf>



自然伝承碑の災害名  
A→洪水・土石流 (1907年7月15日)  
B→平成30年7月豪雨 (2018年7月6日)

事前に、国土地理院自然伝承碑資料や平成30年7月豪雨に関する情報などを漁っていましたが、現地はウェブサイトから得られる情報を立体感をもって解説してくれます。

<https://www.gsi.go.jp/BOUSAI/H30.taihuu7gou.html>

「地図は現地ではない」とS.I.ハヤカワ(1906~1992年アメリカの言語学者)が説明していますが(「思考と行動における言語」)、電子データを含め地図は「考えるる翼」を育ててくれています。

家に戻り、災害当時のひまわり画像を検索すると自然災害伝承碑の果たしている役割をますます実感できました。



グーグルアース資料

<https://zoom.earth/maps/satellite-hd/#view=35.7,132.82,6z/date=2018-07-06,am>

